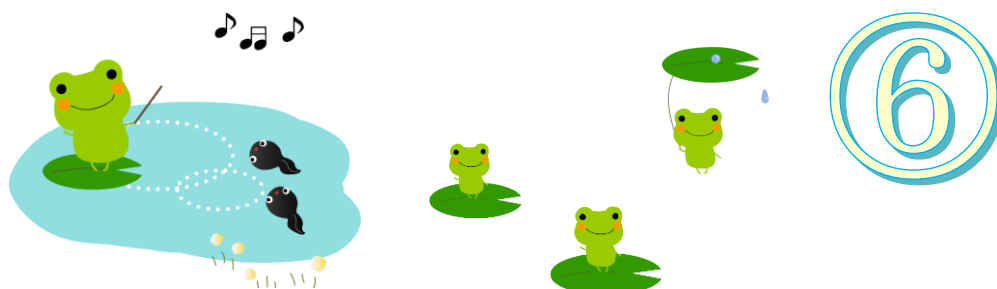


希望を語る

2000 年 8 月発足

21 年の歴史を持つ患者会“希望を語る会”ニュースレター



希望を語る会事務局：健康増進クリニック

TEL03-3237-1777 Fax03-3237-1778

www.kenkou-zoushin.com info@kenkou-zoushin.com

新しい有機ヨード製品 院長 水上 治

銀イオン水を創られた昭和大学薬学部佐藤均教授は、ヨード製剤も創られました。彼の説明書を引用します。

「ヨードは無機ヨードと有機ヨードの2つに分かれます。一般的に、無機ヨードは体内の細胞に吸収されにくい傾向があります。反対に有機ヨードは細胞への取り込みがしっかりと行われます。

まずがん細胞が、正常細胞にくらべて積極的にヨウ素を取り込むことがわかってきました。そしてがん細胞に特有の反応で、ヨウ素ががん細胞内で、非常に活性の強いヨウ素化合物に変化します。そして、ヨウ素の持っている酸化／抗酸化の特性によって、ミトコンドリアの膜電位が乱され、ミトコンドリア介在性アポトーシス（細胞の自然死）を引き起こします。

そしてヨウ素のもう1つの重要な作用として、がん細胞の増殖や制御に関する遺伝子群の制御に作用し増殖を阻害します。それがアポトーシス（細胞死）を誘導します。またがん特有の転移する能力、これを阻害することがあきらかにされました。特にヨードは、直接的に曝露できるので消化器系がんにも効果があると考えられています。

私たちが使う有機ヨードは、ナトリウムを一切含んでいませんので（食品分析センターで検査済）、高血圧、腎臓疾患、むくみなどがある方でも安心して使用いただけます。」要するに今流布しているヨード系の製品は無機ヨードであり、佐藤教授のヨードは有機ヨードであるということです。有機とは炭素を含んでいる化学構造をしているという意味です。この製品は副作用は知られていません。

先日、佐藤教授にお会いしましたが、がん患者さんに結構いい結果が出てきているとのことでした。

【飲み方】ヨード原液 0.5 ml～1.0 ml を 100～350 ml の水で希釈して 1 日 3 回
食後に飲用（30 ml 入り：1 本 10 日～20 日分 税込 55,000 円）



今年も咲いた
さるすべりの花に
逝った友を
思う
美しい人だった
ありがとうが
家中に
うず巻いている
親が云い
子が云う

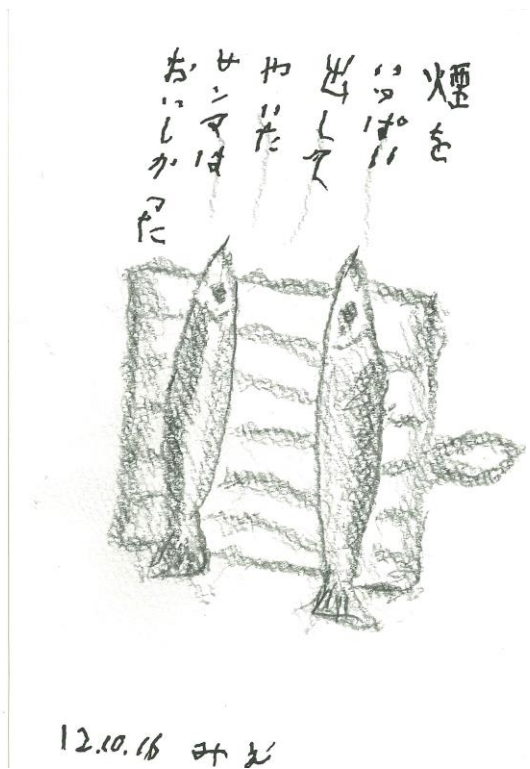
五行歌

小林美智代さま

うぐいす (2022.1.31) S.S.

ミーコねーちゃんの絵手紙

佐藤美恵さま



この作品は 2012 年の頃の作品です。

佐藤様は H7 年に脳梗塞で左半身麻痺となり、H24 年より当院にて鍼治療を開始しました。元副院長の加藤医師の勧めで始めた絵手紙。もともとは右利きですが、左の麻痺を克服するために、左手で書いています。

★「希望を語る」は患者さまの体験談や、また特技を生かしたメッセージ、いま語りたい事、その他何でも、情報交換の場を提供させていただく冊子です。写真や原稿などございましたら是非、事務所またはスタッフまでお知らせください。お待ちしております。

梅雨の季節がやって来た。タチアオイがもう 60cm 位に伸びている。梅雨に入った頃に茎の下から咲き始めて、一番上の花が終わる頃に、梅雨が明ける。

父の日が来る。仏壇の前に座って焼香をしながら、名もなく肩書もない父だったが、6 人の子どもを育ててくれた父を思う。孝行はできなかったが、感謝の気持ちでいっぱいだ。

ちちゆ 父親逝きて 六十余年の としへ 歳を経て 途方に暮れた 涙忘れず

やがて今年も半分が過ぎる。夏に向かって健康であることを願う。



変えていくものと変えないものと

井戸田健二さま

先日、長崎・下五島の福江を旅行しました。旅の最後の日には福江教会を訪れました。その日は土曜日で、19 時にミサがあった為、参加することが出来ました。

教会の駐車場は、昼間は工事車両が 1、2 台あっただけだったのが、なんと晩はミニバン、軽のワゴンなどで満車ではないですか。ミサには、シスターが 15 人前後、計 150 人~200 人位の方がいらしていました。年齢は高かったけれど、東京の教会なら日曜日並みの信者数で、大変驚きました。

ミサ前に^{れんとう}連祷が始まっていました。^{れんとう}連祷とは、連続で唱える祈りです。「天主の十戒」「公会堂の六つのおきて」も全員で声に出していました。洗礼を受けた時に立ち返って、日々自分に心の洞窟に問い掛ける、というもののようです。続いて「聖人の御名の連祷」です。「主あわれみたまえ、キリストあわれみたまえ」に続く、別名「諸聖人の連願」です。

昨年 11 月に旅行した韓国・済州島の教会では、痛悔の祈りの時に右手の拳で胸をたたいて悔い改めていました。その時にも感じたのですが、こうしたことは、私がいる現代の本州・東京、あるいは妻の実家がある北海道・函館においても、毎週のミサでは行われなくなってしまったことのように思います。祈りの伝承でしょうか。隠れキリシタンの口承とは違いますが、祈りの伝承がここでは息づいていると思いました。さすが五島列島と、うなるしかありません。

たまたまでしょうが、福江教会の助任司祭のキム・ポム神父様は韓国出身だと聞きました。「変えていくものと変えてはならないもの」とは何か、あらためて考えさせられた旅でもありました。



《院内セミナー》 水上医師
 6/7 (火) 10:30~
 進行癌になった医師 2 名の体験記から学ぶ
 7/5 (火) 10:30~
 がん・難病・健康回復の
 最新情報をお話した上で
 皆さんを交えた意見交換を致します



★ 診療についての重要なお知らせ ★
 6月・7月の日曜開院日： 6/12・26 7/10・24

引き続き除菌作業を行いながら診療させていただきます
 患者さまにも、マスク着用と手指の消毒のご協力をお願いいたします
 ご不便をおかけいたしますがどうぞよろしくお願いいたします

曜日	治療時間	電話受付
月・火・木・金	9:30~16:30	9:15~16:00
日曜日(月2回)	9:00~14:00	8:45~14:00
※ 定休日：水曜日／土曜日／祝祭日 ※ 日曜日の院長外来を受け付けます		

 今月のお花

 ガーベラ・テッセン・アマドコロ・アスター



そろそろ梅雨入りでしょうか。たまには昔の様な風情のある梅雨になって欲しいですね。

今月のお花はベル型のテッセンに濃いピンクのガーベラに、ほんのりピンクの小花のアスター。それにアマドコロの美しい緑が入り爽やかなお花になりました。

アマドコロは山野に自生する多年草です。太い根茎がトコロ(ヤマノイモ)に似ていることから、その名前がついたそうです。

アマドコロの花言葉
 「元気を出して」「心の痛みがわかる人」
 M.I